

信州大学医学部附属病院に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
病態解析診断学における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年7月4日

「消化器腫瘍における幹細胞の局在と性状の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4088
研究課題名	消化器腫瘍における幹細胞の局在と性状の検討
所属(診療科等)	病態解析診断学
研究責任者(職名)	上原剛(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年6月30日
研究の意義、目的	消化器腫瘍における癌幹細胞マーカーLgr5 についての研究で、疾患の予防や癌の早期発見につながると考えられます。
対象となる患者さん	2000年1月1日から2015年12月31日の期間に信州大学で胃癌、大腸癌、胆道癌の診断で手術を受けられた方
利用する診療記録／検体	被験者背景、性別、年齢、既往歴、現病歴、血清生化学データ、病理標本での Lgr5 発現率、Ki67 陽性率など
研究方法	過去の診療記録から上記の内容を収集します。また、組織検体を分析し、Lgr5 発現と各種診療記録との関係性について検討します
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 上原剛(病態解析診断学・准教授) 電話: 0263-37-2805

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。